

「2025年度 著書出版・海外学会等 参加助成」受賞者 および 「第15回Nextcom論文賞」受賞者

2025年度 著書出版助成 受賞者 助成金：200万円

本助成は、情報通信に関する社会科学分野の学術出版を助成し、優れた研究成果の公的な流通を支援するものです。受賞者は、Nextcom監修委員会の推薦に基づき、公益財団法人KDDI財団が決定しています。2025年度は、助成金（200万円）を受けられる方が下記のように決定し、2026年1月27日に決定通知書が交付されました。

華金玲氏（はな きんれい） 慶應義塾大学 総合政策学部 訪問講師

書名 『情報通信大国化する中国
ーキャッチアップを超え自主イノベーションへ』

概要 本著は、中国の情報通信技術の発展を第2世代（2G）以降から5G・AI・データ時代まで俯瞰し、キャッチアップから自主イノベーションへの転換を政策・社会・技術の相互作用の観点から体系的に描いた書物である。

発行 勁草書房（2027年3月31日出版予定）



2025年度 海外学会等参加助成 受賞者

海外で開催される情報通信に関わる国際会議、シンポジウムなどに参加する方を主な対象に、渡航費用などを助成するものです。受賞者はNextcom監修委員会の推薦に基づき、公益財団法人KDDI財団が決定しています。2025年度の受賞者には、以下の5名の方が決定し、2026年1月27日に決定通知書が交付されました。

水野君平氏
（みずの くんぺい）

北海道大学 教育学部 旭川校 准教授

対象学会：The 16th Biennial
Conference of the Asian
Association of Social Psychology
2025年7月10日～2025年7月12日
マレーシア



郭善英氏

(クァク ソンヨン)

静岡大学 情報学部 准教授

対象学会: IAMCR (International Association for Media and Communication Research)
2025年7月13日~2025年7月17日
シンガポール



岡達志氏

(おか たつし)

慶應義塾大学 経済学部 教授

対象学会: 2025 World Congress of the Econometric Society (ESWC2025)
2025年8月18日~2025年8月22日
韓国



八田真行氏

(はった まさゆき)

駿河台大学 経済経営学部 教授

対象学会: AGI-25 (The 18th Annual AGI Conference)
2025年8月10日~2025年8月13日
アイスランド



丁姚菲氏

(テイ ヨウヒ)

筑波大学 人間総合科学学術院
人間総合科学研究群
情報学学位プログラム 博士前期課程

対象学会: The 31st International Conference on Collaboration Technologies and Social Computing
2025年11月4日~2025年11月7日
インドネシア



第15回Nextcom論文賞 受賞者 副賞: 30万円

Nextcom 論文賞は、若手研究者の方々を奨励するために設けられています。

第15回の受賞者は、2024年12月のWinter号 (Vol.60) から2025年Autumn号 (Vol.63) までの1年間に、本誌に掲載された、おおむね45歳以下の著者による論文を対象に、Nextcom 監修委員会が選考・決定しました。受賞者には、2025年1月27日、株式会社KDDI 総合研究所から表彰状と副賞 (30万円) が授与されました。

山本健人氏 (やまもと けんと)

北九州市立大学 法学部 准教授

受賞論文 「通信品位法230条とプラットフォームの媒介者責任」
(Nextcom Vol.63、pp13-22 掲載)

概要 本稿は、米国の情報通信政策に関する最近の動向のうち、通信品位法230条を巡る議論を素材に、SNS事業者に対する媒介者責任の再設計について検討する。230条は、その後の裁判所の拡大解釈の下、非常に広範な免責をSNS事業者に与えている。しかし、近年では、広範な免責による弊害への懸念が高まっており、さまざまな立場から改革案が提案されている。改革案のうち、モデレーションの禁止は言論市場にラディカルな打撃を与え、望ましいモデレーションを義務付けることは法的・技術的困難を抱える。本稿では、望ましいモデレーションに向けた「意思と努力」を免責の条件とする方向性を現実的な提案の一つと位置付ける。

